



7月19日(木)、郡山市富田のおだがいさまセンターで開かれた絵手紙教室にいわきからおいでになった鳴原さんとお会いました。鳴原さんというよりは、「玉屋のねばちゃん」といった方が、富岡町の方々にはなじみ深いはず…今は、いわき市内の借り上げにお住まいですが、時間があれば玉露仮設でのクラフトカゴ作りに参加したりしているそうです。いわき市好間の仮設とセンターには月に一回ずつ(センターは第3木曜日)絵手紙の講師の先生と一緒に通っています。いわきでは、近くに同級生が多くいて、7~8人でランチに行ったりおしゃべりをして楽しんでいるとのこと。会う人ごとに、「みそまんじゅうが食べたい。」「ホタテモナカが食べたい」と言われ、自分でも食べたいと思うときがあるそうです。(食べたいですよね~)この日はセンターに消しゴム印で暑中見舞いのはがきを作つて持つてくれました。鳴原さんからの一言。「皆さん絵手紙教室にぜひ参加してくださいね!」※みでやっぺ54号の「出会い100選~その3」はその4の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。

おらほの自治会長 このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話を紹介します。
富田応急仮設住宅自治会長:遠藤 武さん

震災前は、自宅から車で5分のゴルフ場でかけ、趣味のゴルフを楽しんでいた遠藤さん。「大自然の中、綺麗に管理されたコースに立つだけでも、気持ちが晴れ晴れする」と話してくれました。今年4月の自治会長就任以降、仮設全体で抱えている様々な問題に対して、住民のみなさんと一緒に解決に向けて取り組んでいます。自治会長として意識していることは「大きな目標を掲げるのではなく、できることから一つずつやっていくこと」と話してくれた通り、苦情や問い合わせに速やかに対応していくことで、みなさんとのつながりを大切にしている遠藤さん。「様々な思いはあるけど、開き直って、今置かれた状況を楽しんでいきたい」と笑顔で結んでくれました。(吉田)

このコーナーでは、町民のみさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品など、みんなさんの作品を紹介します!
みんなの広場

高橋マキ子さんは、おだがいさまセンターで毎週水曜日に開催されている教室に参加して編み物を楽しんでいます。その他、畑をやったり、料理教室に通うなど、「人生何でも挑戦」と様々なことに挑戦して毎日を楽しんでいる姿は、とても元気で活き活きしていました♪

おだがいさまセンター (富岡町生活復興支援センター)
運営 富岡町社会福祉協議会 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334 制作 バズ・クリエイターズ
ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama QRコードはこちる

いってやっぺ みでやっぺ お知らせコーナー

開催日時:8月11日(土)午後3時~午後8時
(屋台は12時~)

開催場所:富田応急仮設住宅敷地内
内容:「おだがいさまよつ夏祭りin郡山」
※裏面記事参照

開催日時:8月18日(土)午後1時~午後5時

開催場所:おだがいさまセンター
内容:陶芸教室
※参加費用(粘土代)として1800円徴収致します。
汚れていい服装、エプロン、タオルの準備をお願いします。

開催日時:8月24日(金)午前10時~午後2時

開催場所:おだがいさまセンター
内容:クッキー作り

開催日時:25日(土)午後6時半~
26日(日)午後8時54分

内容:24時間テレビ(福島中央テレビ)
※放送中、佐藤しげ子さんの「原発難民の詩」の朗読が行われます。みなさま是非、ご視聴下さい。

ご協力に感謝!

電話帳に掲載する情報をご提供いただいたみなさん、ご協力ありがとうございます。7月26日現在で約2,000枚のハガキが「おだがいさまセンター」に寄せられています。現在は、寄せられた情報をデータ化する作業や、ハガキに記載された情報の確認作業を行っています。10月中の電話帳発送を目指して作業を進めておりますので、完成を楽しみに今しばらくお待ちください。

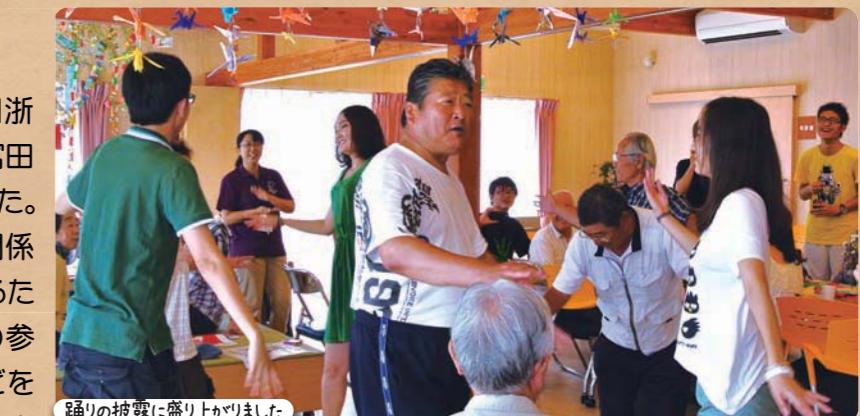
ゴーヤになりました! おだがいさまセンターの前のグリーンカーテンとして涼をえてくれているゴーヤが大きく実りました♪末永さん(福島市在住)、ありがとうございます!



みてやっぺ!

中国浙江省学生来所

7月9日(月)、おだがいさまセンターに中国浙江省の学生さんが来所して、富岡町の町民(富田仮設自治会役員)との交流会が行われました。今回來所した中国浙江省は富岡町と友好関係を結んでおり、今の富岡町の現状を直に見るための来所となりました。学生の方々は17名の参加となり、住民のみなさんと折り紙で鶴などを折つたり、仮設住宅の見学をした後は、学生さんから中国の伝統的な踊りの披露もありました。自治会からは富岡町の町民歌「富岡わが町」などの歌を披露しました。最後に学生さんから「今回福島の人たちの頑張っている姿を見ることが出来とても学びました。この現状を自国に帰つたら、家族を初め様々な人々に伝え、日本や福島に対して正しい理解をするよう話していきたい。」と住民の方へのスピーチがありました。国を超えて心が通じ合う充実した時間でした。



「原発難民の詩」(作 佐藤紫華子) 全国の書店の店頭に並ぶ!

7月20日、朝日新聞出版から佐藤しげ子さん(本名)の詩集が出版され、本屋さんの店頭に並びました。富岡町では、藤富流紫扇会の家元としてたくさんのお弟子さんに日本舞踊を教えていたしげ子さんは、震災後は避難を繰り返しながら今は元警察官のご主人といわき市の仮設住宅に住んでいます。~「逃げている時は夢中で、何が何だか分かりませんでしたが、どうにか落ち着きを取り戻して

佐藤しげ子さんと吉永小百合さん

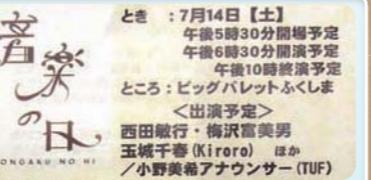


ホッと息をつきましら、恐ろしく悲しくて、たとえようのない切迫感に襲われて何かしなくてはいけませんでした。それが詩となってあふれ出たのです。避難している人からは「私たちが思っていることを書いてくれてありがとう」と感謝されました。「枕元において寝ると、苦しいのは自分だけではないのだという安心感が生まれる」という声を励みに詩を書いてきました。~しげ子さんは「あとがき」でこのように述べています。避難の末に落ち着いた仮設でも、様々な陰口が聞こえてついらい思いにかられ、詩を通して原発による難民となった人たちの事実と思いを後世に語り続けようと考えて、「原発難民」「原発難民それから」という二冊の詩集を自費出版しました。この詩集が、町の図書館長だった小貫さんの紹介などにより次第に広がり、吉永小百合さんや市原悦子さんが朗読するなど、多くの人々の心を動かしていました。このたび、朝日新聞出版から二冊の詩集が一冊にまとめられ、「原発難民の詩」として発売されたことは、より多くの人々に「ふくしま」を「とみおか」を知つてもらう事になり、大きな意味を感じます。

福島の思い全国に

7月14日(土)ビッグパレットふくしまで「音楽の日」の中継を結んだ生放送(TBS)が行われ、当時はビッグパレットに避難していた方々をご招待するということで、約1000人が会場に集まりました。東京の会場をメインに、宮城、岩手と被災地を中継でつなぎ、郡山のビッグパレットには福島出身の梅沢富美男さん、郡山出身の西田敏行さん、沖縄出身の玉城千春さん(Kiroro)が出演され、歌とトークで3時間半が瞬く間に過ぎていきました。一年前の3月17日以来、避難生活を送ったビッ

グパレットには、皆それぞれに「思い」がいっぱい、ステージが作られていたホールは…あの頃は…座席のあちらこちらで、辛い毎日だったけど今となれば懐かしいとの声も聞こえてきました。SMAPの中居正広さんが東京の会場から「福島の皆さん」と呼びかけるたびに、元気いっぱいの拍手で答えていた会場の皆さん、皆さんの熱い思いはきっと全国に伝わった事でしょう!



とき : 7月14日【土】
午後5時30分開場予定
午後6時30分開演予定
午後10時終演予定
ところ : ビッグパレットふくしま
<出演予定>
西田敏行・梅沢富美男
玉城千春(Kiroro)ほか
/小野美希アナウンサー(TUF)

夏祭りin郡山

みんなで夏祭りに行こう!

~テーマは「富岡を感じる!」~

スケジュール

日 時: 8月11日(土)
場 所: おだがいさまセンター前
(富田仮設敷地内)
※住所⇒福島県郡山市
富田町字若宮前32

時 間: 12時～19時(屋台)

※飲食等は有料です。

15時～17時30分(催し物)

18時～19時30分(盆踊り)

19時30分～20時(灯籠点灯)

問合せ: おだがいさまセンター (024-935-3332)

出店屋台内容(※抜粋)

- 焼き鳥、ステーキ
(えびすこ市場)
- 浪江焼きそば
- かき氷
(京都ボランティア)
- ポップコーン
(コープふくしま)
- 日本酒(新潟JC)

※他多数の出店があります。

※雨天決行
※飲食等は有料です。
※郡山・大玉・三春各地点からバスが運行します。運行予定は各仮設や絆力フェの掲示板でご確認ください。

催し物予定(※抜粋)

- 15:00～富岡高校生チアダンス
- 15:30～せんだん太鼓
- 15:50～藤めぐみ歌謡ショー
- 16:20～カラオケ大会
- 17:20～YOSAKOI(富岡チーム)
- 18:00～盆踊り

※他多数の出演・催し物があります。

FM便り

バトンタッチ!変わります…おだがいさまFM

「おだがいさまFM」では、毎週月曜日～金曜日の12時04分頃から、「朗読の小部屋」という朗読番組を放送しています。「おだがいさまセンター」アドバイザー青木淑子の企画で、現在は、福島民友新聞に連載されている、村上龍さんの小説「55歳からのハローワーク」を、1日分ずつ放送しています。内容はオムニバス形式になっていて、現在は第2話に入ったところです。まだお聞きでない方は、是非お昼のひとときを「FM76.9」で朗読を楽しんでください。

「55歳からのハローライフ」村上龍作

第1話「結婚相談所」朗読者:青木淑子(41話)

第2話「空を飛ぶ夢をもう一度」朗読者:古賀徹(51話)

第3話「キャンピングカー」朗読者:青木淑子(現在連載進行中)



第1話朗読担当の青木淑子 第2話朗読担当の古賀徹

- おだがいさまわやかモーニング(放送日:月曜～金曜、午前8時～9時)の担当が変わります。
- 月:吉田 豊 火・水:古賀徹 木・金:平岡知子
- ホームページができました! <http://odfm.net/>

おだがいさま工房便り



糸を染めています



みなさん真剣!

研修スタート!!先日開所しました「おだがいさま工房」では、7月11日(水)より週1回水曜日を研修日とし、午前中は“染め”、午後は“織り”的研修が始まりました。

おだがいさまファーム通信

先日、片平の畑に行つてきました。6月中旬に定植したナスやピーマントマトもぐんぐん大きくなっています。ナスは「初収穫して食べた、自分で作った野菜はやっぱりうまい!」との声も聞かれました。もう一つ、驚いたのはトウモロコシの下にはつか大根が植えてあったこと…はつか大根、1ヶ月ほどで収穫してしまうから限られた土地を有効活用しているのだとか…さすが、農家の達人のみなさん!!学ぶことが多いです。



初収穫!

祇園祭の京都でお茶会



久しぶりの再会を楽しみました♪

「コンチキチン…」と祇園祭の音が響く京都の町で浜通りの避難を余儀なくされている方々が集まつてのお茶会が開かれました。京都災害ボランティアの方々が関西地方に避難されている方々に呼びかけての開催でした。富岡町、浪江町、大熊町などの方が10名参加されました。富岡町の方は3名の参加。避難を余儀なくされてから集まる機会もなく久しぶりに「浜の人に会えた…」と喜んでいたそうです。相馬焼の窯元の山田さんを交えてのお話は「ふるさと」を想う気持ちと、また共通する懐かしい話題が中心になったようです。京都名物の八つ橋と相馬焼の器でのお茶の味は格別だったのではないかでしょうか。楽しい話は時間の経つのも忘れるほどで、3時間が「アツ」と言う間だったそうです。

京都災害ボランティアの方のお話では、また関西地方にいる方々の集まる機会を作つていきたいと話していました。是非、お知らせが来た際には、参加され共通の懐かし話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

陶芸教室



陶芸教室にて作品づくり

7月21日(土)、おだがいさまセンター主催で陶芸教室を行いました。講師は浪江町在住で富岡町の生涯学習課の陶芸教室で教えていた小野田利治先生を講師に迎えて行いました。みなさん小野田先生の話を熱心に聞き、集中して作っていました。「陶芸は集中できるし、何よりも面白い」など様々なお話をしながら作っている場面もあり、出来あがつたお互いの作品の良さを伝えあついました。陶芸教室は、おだがいさまセンターにて毎月第三土曜日午後1時～5時に行う予定です。みなさん是非ご参加ください。

大玉にて足湯

7月15日(日)、大玉村の安達太良仮設集会所にてFUKUSHIMA足湯隊による足湯を行いました。住民の方は「もうやっている?」「知り合いにも声掛けたから!」と、みなさん時間になると続々と集まり「気持ちいいな」「若い子と話せて楽しい!」など体だけではなく心も癒されていた様子です。

居酒屋「喜楽屋・瞳」開店～いわき泉玉露～

いわき市の泉玉露仮設集会所では、6月から月に一回のペースで、連絡員の方々が居酒屋イベントを開催しています。6月28日の1回目、7月19日の2回目、いずれの回も開店の午後5時半直後にビールとつまみを買い求める方々の行列ができるほどの大盛況ぶりでした。

次回開店 日時: 8月 23 日 (木) 午後 5 時半～8 時 場所: いわき市泉玉露仮設第 2 集会所



居酒屋開店!

緑ヶ丘で紙芝居



演目に聞き入るみなさん

杉浦貞さん

7月7日(土)、おだがいさまセンターと緑ヶ丘仮設集会所にて世界で唯一のプロの紙芝居師、杉浦貞さんによる紙芝居上演会が行われました。演目は、奇跡の生還を果たした小惑星探査機「はやぶさ」を題材とした杉浦さんのオリジナルの作品で、みなさん拍子木の音、流れるような「語り」に紙芝居の世界に引き込まれていきました。



五百瀬公園にてウォーキング

花摘み&ウォーキング

7月5日(木)、16日(月)、押し花作品をつくるために、五百瀬公園へ花や葉を摘みながらウォーキングしてきました。暑い中の開催でしたが、皆さん喜んで参加してくださいました。摘んだ花は絆力フェ(郡山市)に戻って、さっそく押し花に加工しました。はがきにはりつけたり、パネルにはりつけたりしてオリジナルの作品が出来上がります。



腕もマッサージ♪